



from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK  
**マッシー川口**  
 from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK

# from New York

「いとしの8ビット野郎たち」の巻

ハロー、ゲンキ？ 出張から戻ったらイキナリ秋になった。皮ジャン着てる人も見かけるよ。今週はTax Free Weekで、洋服や靴などに8パーセントの消費税がかからないから、街では寒い冬に備えてコートを買ひ、紙袋を抱えるニューヨーカーの姿が目立つわね。

ところで、またアップルから新パソコンがデビューしたね。その名も「Power Mac G4」。これには驚いた@@！ 今、最速のベンティアムIIIの3倍の速さで、なんと世界一早いパソコン登場だもの。スーパーチップを使ったスーパーコンピュータの出現。すでにあちこちで、新型マシンG4の予約を受け付け中だよ（iBookがやっと市場に出て、通販のmacmall.comで、定価より5ドル安いだけの1,594ドルでようやく売られたと思ったらもう次か！）

いきなりG4戦略なんて、ジョブスもやってくれるよね。最近、悩んだあげくG3を買った友人は嘆いているけれどね。ヒビビ。それにしても、次々と次世代パソコンが世に現れる今のご時世についてくのは大変だ。

さてそんな中、ニューヨークタイムズ紙によると、アメリカでは最先端とは逆のベクトルの趣味も進行しているようよ。そう、ビンテージコンピュータを愛する熱狂的なラバー達のことね。何千人という人が、以前自分が使ってた愛着ある古いコンピュータを、ガレージから出してきて、古さゆえのシンプルさとクラシックなデザインへの思いを再評価して、ノスタルジアの感情に目覚め「もう一度古パソコンで遊んでみよう！」という「パソコンマニア」に変身してみたいなの。今でもアップルII GSを捨てられない人達は、かつて初めてパソコンに触れた当時の思い出とともに、青春の1ページの宝物を大事にしているのよね。

もちろん、新パソコンが買えない経済的な理由があるわけでも、先端ハイテクをどう使ったらいいのかわからないような人達でもないの。むしろ、その逆の熟知派グループ。おもに20代後半から30代前半、自分コンプ史を振り返りたいというパソコン好きの優秀な男性が多いそう。この現代の32ビット（言うまでもなく現在のPCの主流ね）の世界で、わざわざ「8ビット」で楽しもうというギークな人達が増えているというわけ。ソフトウェア会社やハードウェア会社に働いている人も多いらしい。

仕事では最先端のハイテクマシンを操り、自宅では15歳、クロックスピード1メガヘルツ（今のPCは233～550メガヘルツ）、64キロバイトのRAMという初期のパソコン「Commodore（コモドア）64」（80年代初めのスター的存在、日本ではコモドルと呼ばれる）などで楽しんでいるというヤカラ達。彼らは、ルンルンでプログラミングを調整し、往年のシンプルなビデオゲームなどで遊んで当時を懐古



## カワグチ マサヨ

ニューヨーク在住のフリージャーナリスト。テレビやラジオでニューヨークからのレポートを送っている。ほかにコナミの人気ゲーム「ときめきメモリアル」の片桐彩子役（声優）としても活躍。

members.tripod.com/~masshy



するのがたまらないらしいヨ～。その位のデータなら、今なら任天堂のゲームボーイにだって、すっばり入る程度のものだし、流行のPalm IIIのメモリーキャパシティの3パーセントに過ぎない!? んだけどネ、@@)

こうした逆行テクノロジー愛好者のための「コモドアワールドマガジン」も出版されており、オンラインのウェブサイトではニュースレターなどで情報を交換し、ウィークリーでディスカッションするなどお熱なファンはかなりエスカレートしてるよう。国際プログラミング競技会もあるんだってサ！ また、愛好者自身が雑誌を出したり、コンベンションを開いたり、また、たくさんのプログラマーが定期的に「8ビットのパソコンで誰が一番ストレッチできるか」競争のパーティーを催したりと、マニアの活動も大忙しだ。

もちろん「コモドア」だけでなく、古い「アップル」や「シンクレア・スペクトラムス」なども人気が高いみたい。

● 今や、8ビットのパソコンはコレクターにとってはたまらないアイテムなのね。ちなみに、オークションサイトの「ebay.com」のサーチで「Commodore」とインプットしてみたら、596個のアイテムが出てきたワ。ビンテージのフロッピーディスク、プリンター、パソコンなど何百と言うアイテムが日々市場に登場しているみたい。

● 8ビットファンは、そのプログラムが「ソフィスティケイテッドでタイムレスエレガンス」で内容も充実していると主張する。アプリケーションが少ない初期の時代は、ソフトのプログラムも個人でそれぞれやってたに近しいんだもんね。そりゃ、思い入れも違うし、可愛いハズよね。パソコンは、ただのハイテクな箱から人の心を揺るがす文化の象徴にすなりつつあるのを感じるわあ。

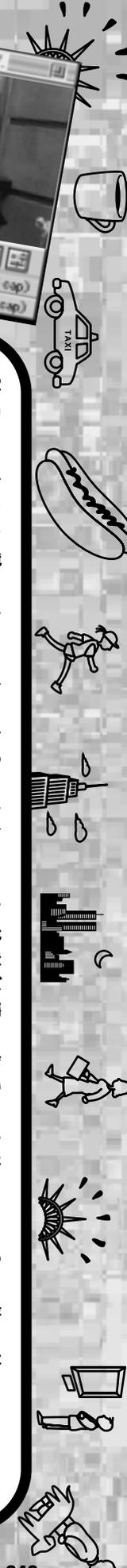
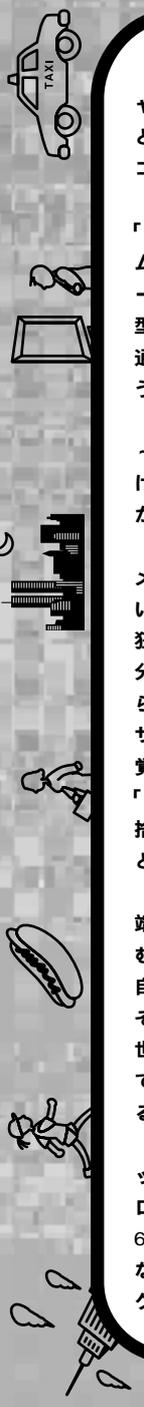
● 以前、日本で「カーグラTV」という車の番組の司会をしていた時に、わざわざよく壊れるビンテージのスポーツカーを買って「壊れて手が掛かるところがなおさら可愛いんです」などと、にっこり笑っていたあのエンサー達の言葉を思い出したわ。コモドルファンも60年代の懐かしいムスタングやオリジナルのビートルに今でも乗りたいたい人たちと同じね。しかも車を維持するテクがあればこそというプライドと自信に満ちた趣味の興奮！

● ところで、ビンテージテクノロジーセンターは、西海岸のサンタクララのコンピュータノスタルジアグループが「コモドア64」モデルのスーパーコンピュータを制作することを発表した。へー@@。

● てなわけで、愛着あるマイパソコンは簡単には捨てられないよ。最新と最古と2つを身近に置いておきたいな。やっぱりG4は欲しいー。けど、毎日一緒の遅くなってきたパソコンも可愛くて大切。いつかは君のパソコンも丸金ビンテージなのだ。

● 今月のオススメURLはココ！  
 ● コモドル愛好家のページ  
 ● www.commodore.freesevers.com  
 ● コモドルの画面はこんなでした  
 ● www.geocities.com/CapeCanaveral/4854/c64.html

Illust: Kido Satoko





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)